

日本調剤二戸薬局

みさと
工藤 美郷さん (28歳)

小学生からのあいさつにほっこり 二戸は優しい人が多い街

—勤めてどのくらいですか

10カ月になります。

—現在どんな仕事をしていますか

薬剤師として、窓口でお薬の説明や副作用の確認をして患者様の健康管理のお手伝いをしています。また少しずつですが、薬品の発注や在宅訪問もしています。薬局では市販薬や血糖測定器なども取り扱っています。お困りのことがあればお気軽にお越しください。

—自己分析するとどんな人ですか

楽観主義で「何とかなるさ」といつも思っています。そんな性格なので学生時代、長期休みの宿題は最終日にひいひい言いながらやっていました(笑)。

—趣味は

最近では休日のドライブを楽しんでいます。バレンタインの日も予定がなかったので、一人で水沢まで高速道路を走ってきました(笑)

—理想の男性像はどんな人ですか

価値観の違いを受け入れてくれる人です。

—将来の夢は

薬剤師になる、という夢を叶えたいばかりなので…次



は自分で薬局を開くことです。

—二戸市に対してひとことお願いします

引っ越したばかりのころ、通りすがりの小学生にあいさつされ、驚いたのと同時に温かい気持ちになりました。二戸は優しい人が多い街だと思います。患者様にも親切にいただいていますし、職場の先輩にも助けられています。初めての配属先が二戸でよかったなあと思います！

日本調剤二戸薬局

堀野字大川原毛 40-7 平成16年5月1日開局、従業員数7人。市民に親しまれる「かかりつけ薬局」を目指し、ジェネリック医薬品の提供や在宅訪問による薬の管理のサポートなどを含めたサービスを行う。



こみゅにTeaたいむ 93杯目

みんなの参加でまちづくり

市は「協働のまちづくり」を進めています。二戸市が今後さらに元気なまちを作っていくため、多くの人がさまざまなまちづくり活動に関わっていくことが求められています。

「人が減って将来に希望が持てない」という声も聞かれますが、未来はこれからの取り組み次第で大きく変わります。

今回開催する研修会は地域づくりに関する講演や地域おこし協力隊の実践発表、今年度町内会などや市民団体が行ってきた助成事業の事例発表を学び、まちづくりを考えます。どなたでも参加できますのでぜひ参加ください。

日時 3月15日(日) 午後1時～4時

場所 シビックセンター1階ホール

内容

①講演「地域課題を逆手にとった地域の活性化
～青森県大鰐町の事例を中心に～」

講師：青森コミュニティビジネス研究所 三上亨所長

②地域おこし協力隊活動報告

地域おこし協力隊 永井尚子隊員、野澤優介隊員

③まちづくり事業補助金(4団体)、市民団体活動推進事業補助金事業報告(14団体)

入場料 無料

定員 100人

問い合わせ、申込先 地域振興課 (☎ 23-3115)



講師

とおる
三上 亨 さん

(青森コミュニティビジネス研究所所長)

1979年弘前大学人文学部経済学科卒業。2010年青森公立大学大学院で経営経済学博士取得。現在、青森公立大学地域みらい学科講師、市民自然エネルギー株式会社取締役などを務める。環境省、国交省、青森県、県内市町の各種委員を歴任。また、「地域活性化伝道師」(内閣府)「地域力創造アドバイザー」(総務省)「地域再生マネジャー」(ふるさと財団)として、地域再生の支援に取り組んでいる。